



道徳通信 NO. 14

平成28年7月20日発行
道徳教育推進委員会

通学路清掃の実施報告

7月14日（木）に第1学年の生徒たちが通学路清掃を実施しました。

各クラス2班編成で、8か所の分担地域の清掃を1時間目の時間帯で行いました。

生徒たちは、日ごろ利用している通学路にも、見えないところにゴミが捨てられている実態を目の当たりにしながら、通学路をきれいに保つことへの意識付けが十分にできたと思います。

1 清掃箇所の状況について

「きれいであった。」という報告の一方で「すごきたなかった。」という報告も相当数ありました。これは、担当箇所によって状況に差があったことが原因と思われます。

ゴミの状況については、「意外にタバコの吸い殻が多かった。」、「お菓子の袋が多かった。」、「草むらにゴミが捨てられていた。」というように、本校生徒以外のポイ捨ての状況も垣間見ることができました。

2 通学路清掃で感じたこと

生徒たちの意見をいくつか紹介します。

「自分たちが利用している通学路を自分たちの手できれいにすることができ、地域に少しでも貢献できたかなと思いました。飲みかけのペットボトルが多く、汚かったです。」

（M1 生徒）

「なんだかんだでたくさんのゴミがあった。座椅子まであった。やはり燃えるゴミが一番多かったが、カンなども多かった。カンの中でもお酒が多くて捨てているのは大人の方が

多いんだということがわかった。」

（E1 生徒）

「普段目につかないところなどにゴミが多くとまっていたり、田んぼの中にゴミが捨ててあったりして大変だった。また機会があればもう少し広い範囲でやってみたい。」

（I1 生徒）

「注意して見てみるとゴミが多かった！定期的にやれば、美化活動に少なからず意識がいくし、地域のみんなも、清掃しているところを見かけたら、ゴミを捨てなくなると思う。」

（P1 生徒）

今年度は、蒸し暑かったこともあり、「暑かった」、「疲れた」といった意見が例年よりも多かったように思いました。

3 今後の実施について

27年度	またやりたい	やりたくない
1年	128	26
	83%	17%

28年度	またやりたい	やりたくない
1年	79	53
	60%	40%

また実施したいかという問いに対し、60%が前向きな回答をしています。野球部の試合の関係で多くの生徒が不在であり、昨年度と条件は異なりますが、大幅に数字が下降している点について、今後分析を進め、今後の指導にいかしてまいります。

（文責 崎山）